

第3回 移民コミュニティの言語生活研究会

日本には約 220 万人の外国人が外国人登録をしながら滞在し、これに未登録の滞在者約 9 万人を加えると、約 230 万人を超えます。全国各地で日本人の配偶者、留学生、研修生など多様な在留資格を持つ人たちが生活を営んでいます。浜松市や豊田市などのような、いわゆる外国人集住地域についてはこれまでさまざまな調査研究がなされていますが、まだまだ調査が及んでいない散在地域は少なくありません。

「移民コミュニティの言語生活研究会」は、地域における外国人の言語生活に焦点を当てた研究会です。特に、これまで全国的に知られてこなかった富山県のパキスタン人住民の言語生活の実態について取り上げ、外国人支援の関係者、研究者とともに富山におけるパキスタン人住民を含む外国籍住民と日本人住民の共生の在り方を模索していくことを目指します。

第3回「移民コミュニティの言語生活研究会」のテーマは、外国にルーツを持つ子どもです。宗教施設に集まる南アジア圏の子どもたちに関する調査および関東圏の子どもの教科学習支援に関する報告を受け、富山県に住む外国人の子どもたちの現状と支援についてパネルセッションを行います。

【日時】 2013 年 2 月 23 日(土曜日) 富山県総合福祉会館サンシップとやま 704 会議

【テーマ】 **越境する家族の子どもたちの現状と支援**

—富山に住む外国人の子どもたち—

【プログラム】

- 13:00-13:05 趣旨説明 (福永由佳, 国立国語研究所)
- 13:05-13:50 講演 1. 家の文化と学校の文化との間で
—在日パキスタン人の子どもたちとモスク教室—
(山下里香, 東京大学)
- 13:50-14:35 講演 2. 松戸市の外国人の子どもたちへの支援
—「外国人の子ども勉強会」の試み—
(海老名みさ子, 認定 NPO 法人「外国人の子どものための勉強会」)
- 14:35~15:05 休憩
- 15:05-17:50 パネルセッション
「富山に住む外国人の子どもたちの現状と支援を考える」
- 15:05-15:10 趣旨説明とパネリスト紹介 (中河和子, トヤマ・ヤポニカ)
- 15:10-15:40 1. 射水市在住パキスタン人住民の子どもたちの実態と課題
(Welfare Social Society Toyama Japan)
- 15:40-16:10 2. 外国籍住民の子どもたちへの支援
(米田哲雄, 「子供の日本語グループ」)
- 16:10-16:40 3. 「年少者支援において保護者を支援することの意義と重要性
—事例報告から—」 (田上栄子, トヤマ・ヤポニカ)
- 16:40-17:50 ディスカッション
- 17:55-18:00 閉会と次回のアナウンス (福永由佳, 国立国語研究所)